

令和3年度学校教育の情報化指導者養成研修 実施要項

1 目的

「GIGA スクール構想の実現」を踏まえ、児童生徒1人1台端末の環境におけるICTの効果的な活用を一層促進するとともに、新学習指導要領において、「情報活用能力」が全ての学習の基盤となる資質・能力として位置付けられたことを踏まえ、その育成のため、教師のICT活用指導力の向上を図る必要がある。これらを円滑に実施するためには、地域や学校の実態に即して学校教育の情報化を組織的に推進することが重要である。

本研修では、各学校や地域における学校教育の情報化を組織的に推進する指導者として必要な知識を習得する。さらに、研修後の成果活用を通して、1) 学校教育の情報化に関する諸課題の改善に専門的知見を活用し、組織的な取組を推進する力、2) 学校、地域において教職員の専門性向上を推進する力、を発揮できる指導者の養成を図る。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構

3 共催 文部科学省

4 受講期間等

受講者は、令和3年8月2日（月）から令和3年8月31日（火）までの期間中、任意の3日間を選択して受講する。

5 実施方法 学習管理システムを用いたオンライン研修

6 配信元 独立行政法人教職員支援機構 つくば中央研修センター
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

7 標準定員 200名

※標準定員は設定しているが、推薦人数に上限は設けない。

8 受講者

(1) 受講資格

- ① 都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準ずる者
- ② 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭等であり、各学校や地域において本研修の内容を踏まえて指導的な役割（研修の企画・立案・実施・評価等を含む）を果たす者
- ③ 当機構の修了証書をもって単位認定を行う（予定を含む）教職大学院の学生（教職経験のある者に限る）

※ 「第5次男女共同参画基本計画」（令和2年12月25日閣議決定）を踏まえ、本研修における女性教職員の割合を10%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について配慮すること。

（参考：令和元年度 9.2%、令和2年度 12.8%）

※ 「GIGA スクール構想の実現」及び新学習指導要領の趣旨を踏まえ、積極的な研修参加をお願いしたい。

(2) 推薦人数

都道府県・指定都市・中核市等ごとの推薦人数に、制限は設けない。

(3) 推薦手続

推薦期限は、令和3年6月30日(水)とする。

各都道府県・指定都市教育委員会においては、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

私立学校においては、都道府県知事部局に連絡し、都道府県知事部局が、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

国立大学法人、独立行政法人国立青少年教育振興機構及び教職大学院を置く各大学については、各機関の担当部局が取りまとめの上、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

(4) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。

9 研修内容

日程表は「別紙1」のとおりとし、受講者は研修終了後に「課題レポート」を提出する。なお、「課題レポート」の様式、提出方法等については、受講者決定時に別途連絡する。

10 事前課題

(1) 研修成果活用計画書の作成

受講者および所属長は事前に「研修成果活用計画書」を作成し、提出すること。なお、様式、提出方法等については、受講者決定時に別途連絡する。

(2) その他の事前課題

その他の事前課題がある場合は、受講者決定時に別途連絡する。

11 研修成果の活用

本研修は、受講者の研修成果を各学校や地域で活用することを前提としている。そのため、研修終了後1年程度の期間後に、研修成果の活用状況（研修企画、研修講師、他校訪問等）についてのアンケート調査を実施する。推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

12 その他

(1) すべての講義を受講し、「課題レポート」を提出した受講者には、修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。

(2) 本研修は、学習管理システム「学びばこ」（（株）テクノカルチャー）を用いて研修を配信するものである。なお、「学びばこ」は専用のソフトウェアやアプリをダウンロードする必要がなく、対応するブラウザであればスマートフォン等の端末からも受講可能である。

(3) システム上は時間・場所を問わずに視聴可能であるが、受講者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な受講環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。

(4) 本研修の受講に際し、特別な配慮が必要な者（障害、持病等）を推薦する場合には、事前に当機構に相談すること。

令和3年度 学校教育の情報化指導者養成研修(NITSオンライン研修) 日程表

		9:00										16:00		
1 日 目	開 講 に あ た っ て	(第1講) 講義					リ フ レ ク シ ョ ン	昼 休 憩	(第2講) 講義					リ フ レ ク シ ョ ン
		社会的背景と教育の情報化							情報活用能力の育成①					
		新しい時代における教育の情報化		GIGAスクール構想におけるICTを活用した取り組み【2つ選択】					学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力		プログラミング教育の推進			
		文部科学省 初等中等教育局情報教育・外国語教育課 課長 今井 裕一 (50)		徳島県松茂町立 喜来小学校 教頭 土井 国春 (20)	相模原市教育委員会 教育局学校教育部 教育センター学習情報班 指導主事 渡邊 茂一 (20)	神奈川県立 川崎北高等学校 校長 柴田 功 (20)			東京都立光明学園 指導教諭 禿 嘉人 指導教諭 外山 世志之 (20)	東北学院大学文学部教育学科 教授 稲垣 忠 (45)		宮城教育大学教科教育学域(技術科教育) 教授 安藤 明伸 (45)		
2 日 目		(第3講) 講義					リ フ レ ク シ ョ ン	昼 休 憩	(第4講) 講義					リ フ レ ク シ ョ ン
		情報活用能力の育成②							教科等の指導におけるICT活用					
		情報モラル教育(情報セキュリティに関する教育を含む)の充実							教科等の指導におけるICT活用の意義		ICT活用を前提とした授業設計			
		静岡大学教育学部学校教育講座 准教授 塩田 真吾 (90)							信州大学教育学部 助教 佐藤 和紀 (45)		東京学芸大学教育学部 准教授 高橋 純 (45)			
3 日 目		(第5講) 講義					リ フ レ ク シ ョ ン	昼 休 憩	(第6講) 講義					開 講 に あ た っ て
		学校及びその設置者等における教育の情報化に関する推進体制							学校及びその設置者等における教育の情報化に関する推進体制		演習 研修成果の活用			
		教師に求められるICT活用指導力		教育委員会・学校としての推進体制① (教師の研修・校務の情報化)					教育委員会・学校としての推進体制② (教師の研修・校務の情報化)					
		中村学園大学教育学部 教授 山本 朋弘 (45)		岐阜聖徳学園大学教育学部 教授 玉置 崇 (45)					戸田市教育委員会 教育長 戸ヶ崎 勤 (45)		教職員支援機構(45)			

※各講義は意図的に配置しているため、日程表に基づき、第1講から順番に受講願います。

※「リフレクション」とは、講義内容について、自身の教育実践を振り返りつつ理解を深める、個人またはグループ演習の時間です。

※午前・午後ともに、講義・演習とリフレクションで150分で構成しています。適宜、休憩を入れながら受講して下さい。

※各講義は「教育の情報化に関する手引き-追補版-(令和2年6月)」及び「GIGAスクール構想の実現」の実態を踏まえた内容としています。

令和3年度学校教育の情報化指導者養成研修 受講に当たっての留意事項

1 受講期間について

受講期間	視聴可能期間	課題レポート提出締切日
令和3年8月2日(月)～8月31日(火) の期間中、任意で選択した3日間	令和3年8月2日(月) ～8月31日(火)	令和3年9月7日(火)

※受講期間は連続した3日間でなくともかまいません。なお、アクセスの集中や回線トラブル等により、受講がスムーズにできない場合に備え、期日に余裕を持った受講を推奨します。

※視聴可能期間を過ぎると、講義動画の視聴はできません。

※一度受講した講義の復習(再視聴)は、視聴可能期間中であれば以下の日時以外いつでも可能です。

※毎週日曜日 23:00～24:00 はシステムメンテナンスのため視聴できません。

2 受講環境等について

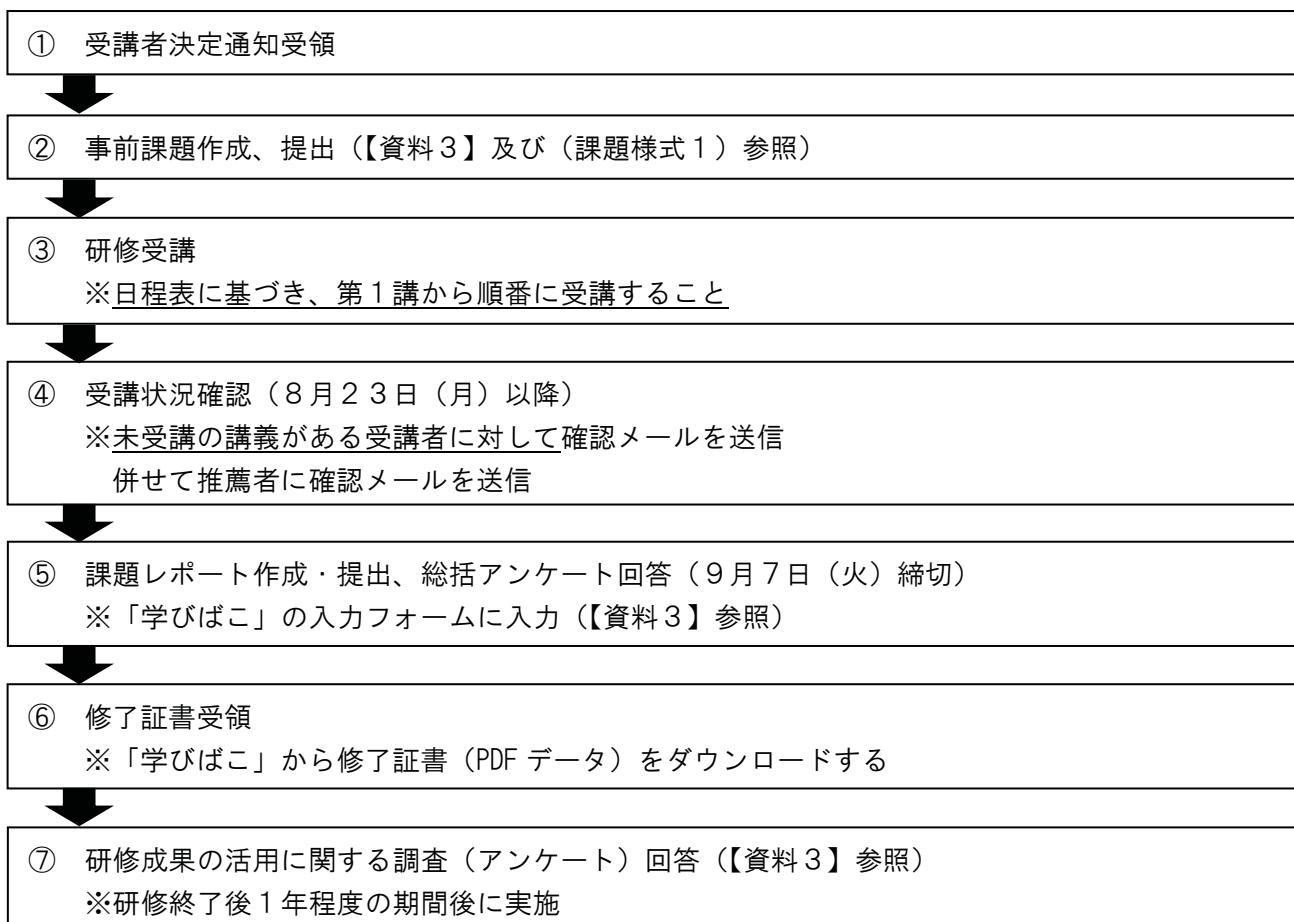
(1) 受講環境について

インターネットに接続できる端末(パソコン、タブレット、スマートフォン等)を用意してください。

(2) 使用システムについて

本研修は、学習管理システム「学びばこ」を使用します。【資料6】を必ず一読のうえ、受講いただくようお願いします。受講時は「学びばこ」受講者用ID・パスワード【資料7】を携行してください。なお、「学びばこ」は視聴可能期間の初日からログインできます。

3 研修受講の流れ



4 事前課題について

【資料3】参照

5 講義資料、活用許諾等について

(1) 講義資料の配付方法

電子データを「学びばこ」に掲載します。(ダウンロード方法等は【資料6】参照)

(2) 講義資料の著作権と活用許諾について

資料活用の許諾の有無、範囲は、各講義資料の表紙に明示します。

(3) 講義の録音、撮影について

原則として禁止します。

6 受講状況の確認及び修了証書発行について

(1) 受講状況の確認について

令和3年8月23日(月)以降、未受講の講義がある受講者に対して確認メールを送信し、併せて推薦者に対しても確認メールを送信します。(受講状況は随時「学びばこ」上で確認できます。)

(2) 修了証書発行について

本研修の修了証書は「全講義の受講終了」「課題レポートの提出」「総括アンケートの回答」が確認できた受講者に対して発行します。

7 緊急時の連絡について

(1) 教職員支援機構から連絡する場合

緊急時の連絡(システムトラブル等により研修開始が遅れる場合等)がある場合は、「学びばこ」ログイン後のページ上部に「お知らせ」として掲示します。また、受講推薦時に登録されたメールアドレス宛てに配信します。

(2) 受講者から連絡する場合

やむをえず研修の受講を中止する場合は、推薦者を通じて下記問合せ先へ連絡してください。

8 その他

(1) 氏名等の確認について

【資料7】に記載されている氏名、情報等を必ず御確認ください。誤り・訂正がある場合は、下記問合せ先までお知らせください。なお、メールアドレスが未登録の場合や誤り・訂正がある場合、「学びばこ」上で登録・変更を行ってください。(【資料6】参照)

(2) メールを受信設定について

迷惑メールのフィルタリング等の設定を行っている場合は、「@ml(ml).nits.go.jp」および「@nits.go.jp」のドメインからのメールを受信できるよう設定してください。

(3) 追加の連絡等がある場合は、学びばこログイン後のページ上部に「お知らせ」として掲示します。

ログイン時、「お知らせ」欄を確認いただくようお願いします。

<問合せ先>

独立行政法人教職員支援機構

つくば中央研修センター 研修プロデュース室 田代、目見田

TEL : 029-879-6983, 6974 FAX : 029-879-6645

E-mail : t-online@ml.nits.go.jp

取組・課題等について

1 取組・課題等一覧

取組時期	内容	取組・提出方法等	提出時期
研修開催前	(課題様式1) 研修成果活用計画書	・推薦者の指定する方法により推薦者宛て提出(推薦者から教職員支援機構に提出)	推薦者の指定した期日
研修中	講義アンケート	・リフレクションの時間等を使用して「学びばこ」の入力フォームに入力	各講義終了後
研修終了後	課題レポート	・全講義の受講終了後に「学びばこ」の入力フォームに入力(1,200字以上1,500字以内) ※「閉講に当たって」で作成ポイント等を解説します。	令和3年9月7日(火)
	総括アンケート	・課題レポート提出後に「学びばこ」の入力フォームに入力	令和3年9月7日(火)
研修終了から約1年後	研修成果の活用に関する調査(アンケート)回答	・研修成果の活用内容、方法に関するアンケートに回答 ※回答方法は回答期日前に別途案内します。	令和5年1月

2 研修成果活用計画書について

本研修の受講者は、各地域において、研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や、各学校等への指導助言等を行っていただくことが受講の要件となっております。

そこで、受講者は本研修で何を学び、地域や学校の課題に即して、どのように研修成果を生かすかについて、事前に計画を立てていただきます。

本様式(課題様式1)は、当機構 Web ページ(<https://www.nits.go.jp/training/102/018.html>)からダウンロードしてください。

(課題様式1)のダウンロード:TOP ページ>研修・セミナー>教育課題に対応する指導者養成研修>⑥現代の教育課題に対応する指導者養成研修>学校教育の情報化指導者養成研修>ダウンロードデータ(ページ下部)

3 リフレクションについて

日程表【資料1】に記載のとおり、各講義終了後に「リフレクション」の時間を設けています。この時間は、講義を通じて学んだ内容を振り返り、自分の実践や今後の学校改善と関連づけて学びを整理する時間です。なお、講師から取り組む内容について指示がある場合があります。その際には、指示された内容に取り組んでください。

研修成果活用計画書

都道府県等名		所属 (学校名/教育委員会名)	
職名		氏名	受講者 番号

〈受講者記入欄〉

1 本研修で学びたい内容

--

2 研修成果の具体的な活用方策【校内研修・その他の研修 ※実施予定の研修に○】

対象
時期
場所
手法や形態等

〈所属長記入欄※〉

所属	職名	氏名
1 本研修に参加する職員へ期待する成果		
2 研修成果を活かすための具体的な場とそこでの役割		

※ 学校籍の方は校（園）長、教育委員会籍の方は所属課長、教職大学院に籍がある方は指導官または、所属校校（園）長、その他の方は上記に類する方が御記入をお願いします。御自身が所属長の場合は、所属長欄を記載する必要はありません。

NITSニュース

メールマガジンの登録

はじめまして！独立行政法人 教職員支援機構（NITS）です。当機構では、全国の教職員の方々を対象に研修を行うとともに、様々な支援事業を行っています。その一環として、金曜日（隔週）にメールマガジンを配信しています。ぜひご登録をお待ちしています。（現在約 19,500 名の登録者がいます）

大学の先生によるお話

大学教授等によるコラム、研修内容等の紹介

研修受講者によるお話

講義・演習の感想、実践事例の紹介

NITS オンライン講座の紹介

オンライン講座「校内研修シリーズ」の紹介

機構事業の最新情報の紹介

表彰事業、調査研究等、機構の最新情報の紹介



〈登録方法〉

- 1 ホームページ下のバナー「メールマガジン」をクリック
または、QRコードから「NITS ニュース」ページにアクセス
してください。
- 2 「新規登録」をクリックし、必要事項を入力、登録ボタンを
クリックしてください。



令和3年度学校教育の情報化指導者養成研修 情報交換会のお知らせ

日時

令和3年8月24日（火）、25日（水）
各日10:00～12:00、14:00～16:00

※希望者は、全4回のうちいずれかにご参加いただきます。
※希望状況により、所属、受講者番号等で日時を指定します。
※希望者による日時指定には、お応えできません。

方法

Web会議システムZoomによる
※ZoomのミーティングID及びパスコードについては、
8月20日（金）までに「学びばこ」でお知らせします。

参加者

令和3年度学校教育の情報化指導者養成研修受
講者のうち参加を希望される方

※情報交換会への参加は任意です。修了証書授与の条件に
参加の有無は含まれません。
※参加を希望される方は、8月2日（月）～4日（木）に
「学びばこ」内のアンケートに必要事項をご記入ください。

日頃感じている学校教育の情報化のよさや
悩み、今回の研修で学んだことや生かして
いきたいこと等について、同じ研修を受け
た全国の仲間と語り合いませんか。



（問合せ先）

独立行政法人教職員支援機構

つくば中央研修センター

研修プロデュース室

担 当：田代、目見田

T E L：029-879-6984、6983

F A X：029-879-6645

E-mail：kk2@ml.nits.go.jp



独立行政法人教職員支援機構